

# 明日に向かって2015

## 進路先決定

高等部3年生(24名)が卒業しました。新たな生活への不安や戸惑いがあるかと思いますが、社会人の1歩を踏み出した卒業生にエールを送ります。

一般事業所	業務内容	人数
プリントキューブ (印刷業)	プリント加工業務 捺染作業業務	1
花むつみ (老人福祉・介護事業)	清掃及び洗濯等	1
(株) 大切 (専門料理店)	食器洗浄、食器揃え、 清掃等	1
温泉ゆぼぼ	清掃、外作業等	1
サン・サルビア (老人福祉・介護事業)	館内清掃、外作業、 リネン、配膳下膳等	1
ザ・ビッグ大曲福田町	野菜の袋詰め 品出し等	1
ハローワーク大曲	事務補助	1

※2名の生徒については、最終調整中です。



福祉サービス事業所	サービスの種類	人数
愛 仙	生活介護	1
ありす刈和野	生活介護	1
サンワーク大曲	生活介護	2
しみず	生活介護	1
まつくら	自立訓練	2
ほっぺ	就労継続支援B型	2
テnderランドリー ファクトリー	就労継続支援B型	1
心身障害者コロニー	就労継続支援B型、入所	1
ネット横手	就労移行支援	3
ルピナス	就労移行支援	1

## H27年度 同窓会入会式

2月24日(水)、高等部3年生を対象に同窓会入会式が行われました。大曲養護学校同窓会は、今回24名が入会することで、464名になります。

同窓会長の八田健哉さんの挨拶や、副会長の西鳥羽さんによる「ふれあいハッピースクール」の説明がありました。

卒業後の様々な活動を知り、参加してみたいという声が聞かれました。



# 卒業記念対談

卒業を控え、教室で和気あいあいと過ごしている3年3組にお邪魔しました。

社会生活への思いや、これまでの思い出についてお話をしました。

【担当…進路担当、生徒名敬称略】

(担当) 卒業おめでとうございます。いよいよ社会人ですね。



(全員) ありがとうございます。

(佳孝) 3年間があつという間だったので、さみしい気持ちです。

(亜佳里) 私は、長かったなと思います。やはりさみしい気持ちです。

(美絵) 私はあつという間でした。友達と協力したり勉強したりして楽しかったな、と思います。

(隆太) 2年生の後半までは、正直嫌々登校していました。今となっては、就職を視野に入れて気持ちを切り替えられたことがよかったな、と感じています。

(担当) 進路が決まってどんな思いですか。不安もありますか。



左から  
谷亜佳里さん、真崎隆太さん、中嶋美絵さん、  
鈴木佳孝さん

(隆太) (株) <sup>おおぎり</sup> 大切に決まりました。主に食器の洗い物の仕事をします。「大切(たいせつ)」と書いてあるのを見ると、みんな「大切(おおぎり)」に見えてしまいます。今一番不安なのは、出勤日と休日の切り替えです。学校と違って給料が関わるので、自分で生活リズムを整え続けられるかが不安です。

(亜佳里) 花むつみ(老人福祉施設)に就職が決まりました。清掃の仕事をするので、利用者の方がけがをされないように、丁寧に行ききれいにしたいと思います。

(美絵) 4月からテnderランドリーファクトリーで、おしぼり畳やクリーニングの仕事をします。知らない人が多い中で不安ですが、知っている先輩もいるので自分から話し掛けるようにしたいです。

(佳孝) ルピナスに路線バスで通い、館内清掃や接客の仕事をする。ドキドキしますが、先輩たちと仲良くできるようにしたいと思います。

(担当) 不安もあると思いますが、これまでの学習を思い出して前向きに努力してくださいね。

最後に、先生たちや後輩にメッセージがあればお願いします。

(亜佳里) 先生方、今までたくさん指導してくださりありがとうございました。困ったときに自分から相談できるようになりました。3年間、本当にありがとうございました。

(隆太) 嫌だなと思うときでも、友達や後輩など相談する相手を見付けることで乗り切ってきました。みんなにありがとうと言いたいです。

(佳孝) 私は入学したときから先輩方の手本を見てまねしてここまで来ました。後輩の皆さんには、格好悪いところも見せたかもしれませんが、僕たちが引き継いできた伝統を守ってほしいと思っています。

(美絵) 3年間、縫製班で作業をしました。先生方には新しいことをたくさん教えてもらいました。製品を作って販売し、お客さんに喜んでもらうことも知りました。ありがとうございました。

(担当) 今日は様々なお話をしてくれて、ありがとうございました。

たくさんの思い出や、将来への思いを抱えて巣立つ卒業生24名に幸多かれと願います。



一年間、進路指導部報を御覧いただきありがとうございました。「明日に向かって2015No.1」で、進路とは進んでいく道、または人が進む方向であり、その中心は子どもであることを書かせていただきました。

今年度の「明日に向かって」が、目の前の子どもたちの進路を考える上で少しでも参考になれば幸いです。来年度も、様々な情報をお届けします。

また、御覧になっての御感想や御質問、御意見など担当までお知らせくださればうれしく思います。

<担当 進路指導部 菊地正紀 丹波舞子>